

予備発電装置の油漏れを応急補修により対応

(リスクが回避できない限界となる前の施設の保全更新の事例)

【軽減する】

【内容】

- ・予備発電装置の油圧低下故障が発生、装置の試運転が不可のため調査実施

【調査－１】

- ・調査内容
 - ①予備発電機目視点検・・・・・・・・・・オイル漏れを確認
 - ②予備発電機オイル量確認・・・・・・・・・・オイル量不足を確認
- ・故障発生理由
オイル量が不足しているため油圧低下故障が発生している。
- ・油漏れ箇所の特
定
オイル排出配管より漏油を確認
排出口配管のネジ山がつぶれており取替え不可

【対応－１】

- ・オイル排出ドレンに
応急処置を実施
- ・後日配管を修理し、
オイル補充して運
転を行うが、すぐ
に故障停止の状
況

■既設ドレンの状況



既設ドレンから
オイル漏れ

【対応－２】

- ・エンジンオイル取替用ドレンバルブの破損のため、エンジンオイルがなくなり故障が発生している。
- ・新しい配管材を準備するが、ドレンの取付穴が特殊なため完全に補修することができない。
- ・後日専用のドレン取付プラグを購入するかして、再修理を実施する。
- ・当面応急的にドレンを取付け、塞ぐようにした。
- ・エンジンオイルを８リットル補充して運転可能となるようにした。
- ・オイル漏れはないが、エンジンの振動により緩む可能性がある。
- ・ドレンが完全に修理できるまでは、定期的にオイルの漏れがないか確認することとする。

■エンジンオイル取替用品



既設取付ドレン
(取付できなかった資材)
ネジが合わないため

劣化エンジンオ
イル受皿

エンジンオイル
補給用品

■ドレン取付 (応急処置)



上記のドレンが使用できな
かったので、応急的に処置
を行った。

■オイル注入口



■補充したオイル



【確認】

- ・ 試運転を実施し、油圧低下故障、ドレンプラグ緩み等の異常なしを確認
- ・ 上記の状況を勘案し、正規品のドレンプラグの購入は見送ることとした。
- ・ 翌年度に再度プラグの加工を施し、より完全な補修とする。